

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年5月8日現在

概況 オレゴン州の2011年5月8日に終わる1週間の気象は、好天と雨天が繰り返す気象であった。平均気温は50度Fとなったが、同時期の平年の平均気温より2.5度F低かった。Willamette Valleyの最高気温は今月初めて70度を越し70~73度Fであったが、平均気温は平年を0~3度F下回った。1週間の降水量は0.45~1.26インチであった。NC地区の最高気温は66~71度Fであり、最低気温は低く27~35(The Dallas)度Fであった。平均気温は平年を2~7度F下回った。1週間の降水量は0.06~0.24インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.0日(前週:3.4日)に改善した。Topsoilの土壌水分は、前週より多少乾き“Surplus”が減少し“Adequate”が増加した。Willamette Valleyでは、春小麦の播種が進み、遅れていたがやっと完了の段階となった。NC地区では日中の気温が未だ低く、圃場が軟弱であり春小麦の播種の進捗は遅れていた。Umatilla郡では5月7日に激しい時期外れの降雨があった。Willamette Valleyの冬小麦の作柄は例年より良好と報告されたが、NC地区では低温と多雨で病害が心配された。冬小麦はこの時期に平年では出穂を始めるが今年は未だであった。冬小麦の作柄は昨年より良好であった。春小麦は全州の88%の圃場にて播種が完了し、播種圃場の47%(昨年同期:86%、5年平均:77%)にて出芽した。出芽は低温気象の為、平年より大幅に遅れていた。

2011年5月8日現在：土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	3	69	28
	Last week	0	1	65	34
Subsoil	This week	0	3	69	28
	Last week	0	1	72	27

2011年5月8日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	-	NA	1	2

2011年5月8日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	2	17	59	22
Last week	0	2	17	61	20
Last year	0	4	31	49	16

2011年5月8日現在：春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	88	80	96	95
Emerged	47	37	86	77

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

以上